



## 子どもの時間を生きる『暮らし』がここにある

### 『原風景に刻まれる暮らし』

陽だまりの暮らしは一人ひとりが主人公。大人も子どももそれぞれの役割を果たしながら、知恵を合わせて楽しく暮らす「おおきなうち」の一員です。特に、暮らしを作る中で優先されるのは、大人の都合よりも「子ども時間の保障」。そんな日々の暮らしが「主体的に生きること」を支えます。また、小さな仲間を思いやる気持ちや、先輩たちへの憧れは、人と人が関わり合って暮らす「異年齢保育」の暮らしの中で大切に育まれています・・・



### 暮らしの中で『食べること』

～子どもたちの身体は全部、食べたもので出来ている～

だからこそ陽だまりの暮らしの中では園の真ん中に「食」を据えています。安心安全なものを提供することはもちろん、食文化や食する空間、食器にもこだわり、「食」を通して心も豊かに育みます。完全自園調理 加工品等も使わず、すべて素材からの調理、手づくり味噌も自慢です。ビュッフェスタイルなので、自分で食べる量も決めることができます。もちろん、アレルギー食等にも個別の配慮を行い、離乳食も一人ひとりのペースを尊重して、個人対応で作ります。



## 子ども時間が流れる中での『遊び』～アクティブラーニング～

### 『主体的に』遊ぶ

遊びとはそもそもが「主体的な」営みです。道具や大人に遊ばされる・・・でなく、

「自ら遊ぶことを  
楽しんでいるか」  
が重要なポイント!!!  
遊びこそ、  
アクティブラーニング!



### 『自然の中で』遊ぶ

水、砂、土、風、時に雨もまた楽しい・・・

使い方の決まった玩具より、隣接する森に出かけて出合える様々な自然物は、何にでも見立てることができる万能素材。好奇心をくすぐられ、想像力 創造力の源が詰まっているのです。



### 『非日常を』遊ぶ

～毎日の暮らしの中にある「ハレ」の日と「ケ」の日～

ワクワクする非日常を演出することもまた大事な保育の一コマです。同じことが安心して繰り返される日常「ケ」の中にある「ハレ」の日。行事や取り組みを通してまた一つ子どもたちの大きな成長を見ることが出来ます。また「ハレの日(=行事)」は、大事な保育公開の場であり、子どもたちの成長をみんなで喜び合う日でもあるのです。そのためだけに特別なことをする必要はないけれど保育の大きな節目として大事に取り組みます。3歳児から山に登り始め、5歳児では筑波山に茶臼岳、古賀志山登山、岩山クライミングにも挑戦。4歳児も自分たちでキャンプ計画を立て実行。保育参加を推奨しながらの「共育で」楽しい子育てのお手伝いします!

～ あせらず 先取りせず

ゆっくり

じっくり

丁寧に～

五感豊かに体験することによって、  
自ら獲得する「認識保育」

### ◆設置者◆

ひなた

社会福祉法人 陽向

〒329-1233

塩谷郡高根沢町宝積寺 2062-1

TEL/Fax:028-678-9717/9718

### ◆認定区分・定員・特別保育◆

・1号認定こども(保育を必要としない3歳以上) ... 9名

・2,3号認定こども ... 認可定員 90名

・「乳児保育」産休明け2ヶ月よりお預かりいたします。

・「障がい児保育」専門家の発達相談受けられます。

・「延長保育」 18:00～20:00

・「たかねざわ ぽかぽか食堂」(こども食堂)

・「地域子育て支援拠点事業 『ひなたぼっこ』

・「学童保育」 『地球小屋』

### ◆利用料等◆

・給食費 ... 主食費:1,500円/月

副食費:4,500円/月

・月刊絵本代 ... 福音館こどものとも 440円/月

・保護者会費 ... 500円/月

・実費負担金 ... 年長2,500円/月 年度末精算  
(キャンプ、登山ロープウェイ等交通費、スキー合宿等)

陽だまり保育園  
屋外型 子育て支援拠点  
ひなたぼっこ

